

## 校長室より⑨

### 情報モラル学習会(1/16) 天龍小5・6年も参加



情報モラル学習会を天龍小学校5・6年生児童と一緒に行いました。

LINE みらい財団より LINE オフィシャルインストラクターを講師にオンラインでの学習会でした。「楽しいコミュニケーションを考えよう」(悪口編)ということで、自分と相手の感じ方の違いを理解し、見えない相手のことを想像しながら、コミュニケーションをする事の大切さをLINEでの具体的なトークでの事案をもとに学びました。同じ言葉やスタンプでも相手によって受け取り方が違ったり、トーク上でけんかになりそうになったときどうするか考えたりすることで、「安易にメッセージを送信しないで、本当に大丈夫か見返して送信することが大切だ」と生徒の感想発表がありました。

### どんぐり向方中との交流 百人一首大会(1/18)



恒例となったどんぐり向方中学校の生徒との百人一首交流が行われ、雪・月・花の3つのグループで散らし取り方式で楽しみました。読み札の上の句を読み始めるとすぐに「はい!」と取る場面も見られ、自分の好きな歌をいくつも覚えているようでした。両校の生徒の中に職員も一緒に交じって本気で取り組む様子も見られました。グループ内で歓声があがったり、笑顔がたくさん見られたりと和気あいあいとした雰囲気楽しんでいました。

どんぐり向方中の生徒とは、小学校の頃から交流しており、中学校でもこの他に三校交流や村民運動会などでも顔を合わせているので、緊張感なく自然な姿での交流となったと思います。

各グループで一番取った生徒が両校それぞれ表彰されました。

## 「ふるさとタイム」発表会(1/24)



今年度最後の参観日が行われ、その中で「ふるさとタイム」発表会で今年度の学びの成果を発表しました。総合的な学習の時間の中で「ふるさと天龍村の未来のために、自分たちがしてみたいこと」を全校テーマにして一人ひとりが課題を設定し個人で探究する事を1年間かけて14時間行ってきました。「土砂災害を防ぐための道路やトンネルの調査」「天龍村の特産を使った石けんづくり」「天龍村(天龍中)の歴史」などそれぞれのテーマをもとに、自分なりの計画と内容で活動したり学んできた成果が発表され、どの学びも素晴らしいものでした。

参観した保護者の方や地域の方からは、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

自分のふるさとの事について学び、自分のできることを行い、自分の生き方について考えるキャリア教育としても今後大切にしていきたい学びです。

## 永嶺村長との懇談会(1/24)



「ふるさとタイム」の発表も永嶺村長さんが参観してくださり、ご感想もいただきました。その後永嶺村長さんとの懇談が行われ、生徒から天龍村に対する願いや要望を議会の一般質問のように村長さんに伝えました。「中学校校舎の後利用について」「空き家対策」「道路整備」など中学生なりの考えですが、村議会の一般質問と同じような内容の意見や要望が出され、永嶺村長さんからは丁寧な回答をしていただきました。昨年この会で生徒が要望した「不法投棄対策の青色LEDライトの設置」は現在、為栗駅近くの道路沿いに設置していただきました。